

# Rあ〜る

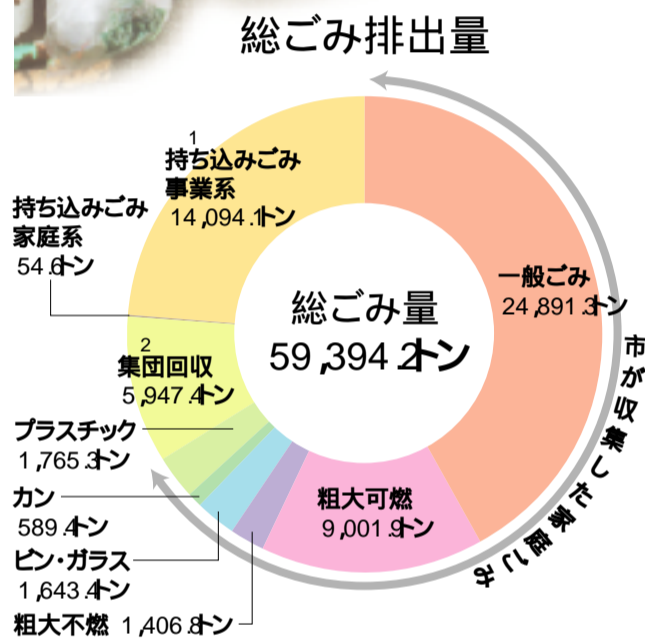
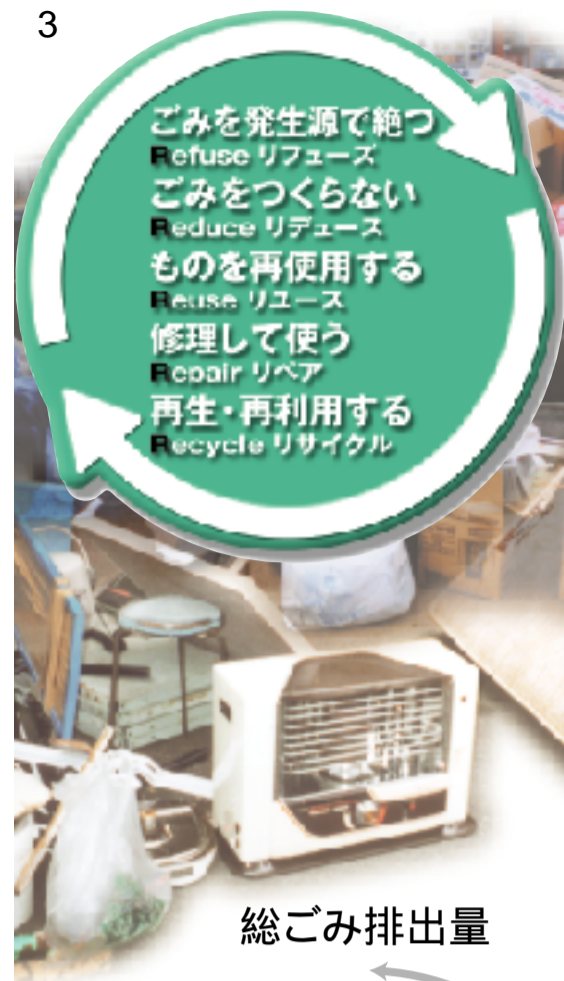
かわにし vol.9

編集・発行 / 川西市環境事業部環境推進室  
ごみ減量とリサイクル推進課  
〒666-0011 川西市出在家町1番11号  
/ 072-759-4240  
ファクス / 072-757-0904

## 14年度ごみ量は1人1日1,020g 費用は1人当たり年間19,176円

14年度の総ごみ量は59,394トンで、その内訳は市が収集した家庭ごみ39,298トン、持ち込みごみ14,148トン(事業系14,094トン、家庭系54トン)、集団回収5,947トンとなっています。また、リサイクルしたのは9,724トン。総ごみ量に対するリサイクル率は、16.4%で前年度と比べて0.7%増えています。

ごみ処理に掛かる費用は、14年度で市一般会計の6.8%、約30億6千万円に。市民1人当たり換算すると19,176円で、リサイクルするためにも費用が掛かっています。ごみ処理費を抑えるためには、ごみを出さないライフスタイルづくりが大切です。

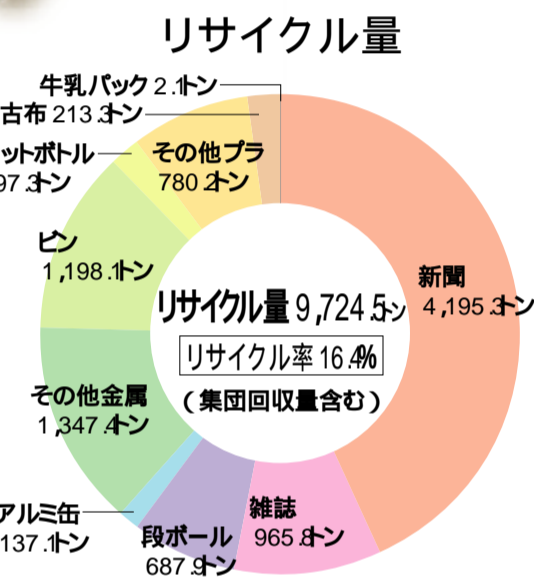


#### 事業系ごみ内訳 (トン)

一般ごみ	11,931.2
粗大可燃	1,799.5
粗大不燃	22.0
ピン・ガラス類	91.0
缶類	65.7
プラスチック類	184.7
計	14,094.1

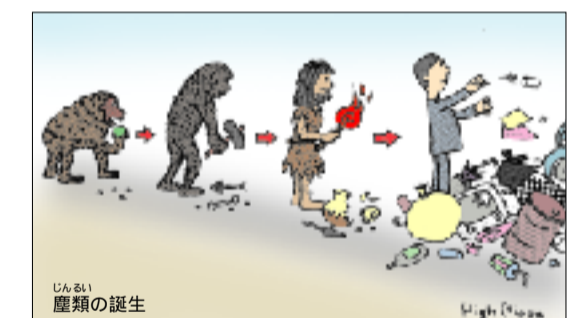
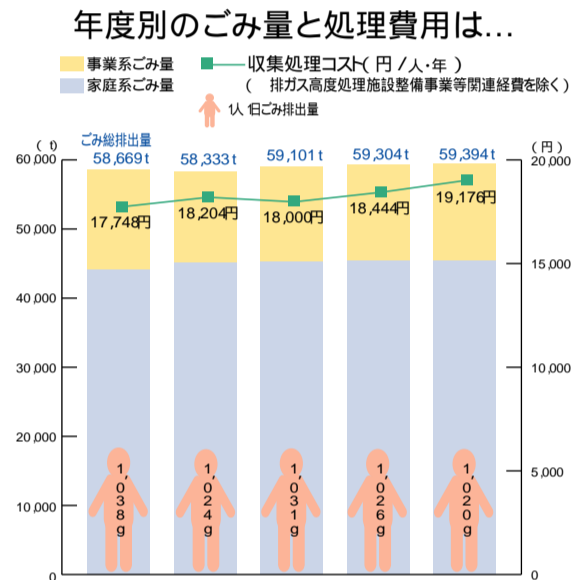
#### 集団回収内訳 (トン)

新聞	4,195.3
雑誌	965.8
段ボール	530.7
アルミ缶	40.2
古布	213.3
牛乳パック	2.1
団体	5,947.4



#### 資源ごみの行方

- 新聞 → 新聞
- 雑誌 → ボール箱や絵本など
- 段ボール → 段ボール箱や紙筒など
- アルミ缶 → 新しいアルミ缶
- その他金属類 → 建築資材など
- ガラスびん → 新しいガラスびん
- ペットボトル → りんごなどのクッション材
- その他プラ → 固形燃料
- 古布 → 工場の機械のウエスやそのまま衣類として海外へ輸出
- 牛乳パック → トイレトペーパー



作者註:新定義「人間はごみを造る動物である」(ハイム作「モック魔物」日報出版より転載)

問い合わせ・申し込みは 〒666-0011 出在家町1-11  
ごみ減量とリサイクル推進課(4月からリサイクル推進課に変わります)  
759-4240 ファクス757-0904

## ごみの減量はじめの一步

買い物袋を持って  
買い物に行こう!  
ごみになるレジ袋や  
包装紙は  
断りましょう

### 台所の生ごみを堆肥に有効利用

調理くずやお茶がらの生ごみは、水分を多く含んでいるため重量がかさみます。庭の土に埋めたり、処理機などで堆肥にして有効利用すれば、ごみの減量にも役立ち、一石二鳥です。

処理機など購入する場合は、助成制度を利用しましょう。(5年間は再申請できません)  
<助成額> 購入費の半額。ただし、1万円まで  
<申込方法> 購入する前に同課に電話などで予約を

### あなたの地域に出前しまーす

## 「まちづくり出前講座」ごみ学習会

学習内容 「減量とリサイクル」  
「分別のしかたと行方」  
「処理センター見学」など

対象 自治会やサークルなど10人以上の団体

開催日時 月～金の午前9時～午後5時15分  
(夜間や土・日・祝日の開催は相談してください)  
(会場は申込者が用意してください)

申込方法 電話が直接同課へ。日程など調整の上、申込書を提出してもらいます

循環型社会をめざして、みんなで取り組みましょう

川西市では、循環型社会を築いていくため、ごみの減量化とリサイクル推進に取り組んでいます。目標は、平成21年度までに1人1日のごみ排出量934g、リサイクル率25%をめざしています。目標を達成していくために市民と事業者、行政がそれぞれの役割を果たしていくことが最も大切です。

### 市民の役割

ごみになるものを家庭に持ち込まない、できるだけごみを出さない生活を心掛ける

#### 家庭ごみ100g減量の具体例

- 1人1日100gのごみ減量といってもどうすればいいのか分かりにくいですね。今号では、家庭のごみ減らしの具体例を紹介します。身近なことから少しずつ実行に移してみましよう(具体例の重さは目安です)。
- 買い物にはいつも買い物袋を持参する  
<レジ袋 大枚10g 中枚8g>
- 外出時にはペットボトルのお茶より水筒持参  
<ペットボトル(500cc) 25g>
- 食べ残したものを冷蔵庫で保存するときは、ラップを使わず、密閉容器を使う  
<ラップ 4g>
- 電子レンジで温めるときは、ラップを使わず、深めの皿でふたをする  
<ラップ 4g>
- 流し台の三角コーナーやストレーナーにたまった生ごみは、水切りをしっかりする  
<水分 30g>
- リサイクル情報誌「リ・ぼ・ん」を活用する  
市民の皆さんの譲りたいもの、譲って欲しいものの情報を掲載しています。毎月1日ごろ発行で、市役所や公民館などに置いてあります。登録申し込みは、同課へ。
- 毎日出る調理くずやお茶がらは、庭に穴を掘って埋めたり、生ごみ処理機などで有効利用する  
<1日1人1生ごみ 230g>
- ペーパータオルよりふきんを活用する  
<水分をふきとったペーパータオル 20g>

#### 無駄な包装は断る

- ・包装紙 60g
- ・冷凍食品包装材 3g
- ・保冷剤(水入り) 40g

トレーや牛乳パックなどの資源物は店頭回収ボックスへ持っていく

- ・トレー 5g
- ・牛乳パック 30g
- ・アルミ缶(500cc) 20g

#### ごまめに冷蔵庫の中を点検して、食品を適切に管理する

<廃棄されやすい食品>

- ・とうふ 釘 300g
- ・納豆 バック 50g
- ・スライスハム(枚入り) 100g
- ・きゅうり 100g
- ・大根 3分の1 450g
- ・ヨーグルト 110g

#### 事業者の役割

排出者として...

- ・事業活動で出たごみは、自分たちで減量・処理を考える
- ・生産・販売者として...  
ごみになるものを作らない、売らない、ごみにさせない

排出者として...

- ・事業所内で目標を定めて、ごみ減量の意識を共有する
- ・使い捨て資材や用品の使用を避け、再用品・再生品を使う
- ・事業所内の分別ルールを定め、資源化する(紙、ビン、缶、プラスチックなど)
- ・生ごみの資源化に取り組む

生産・販売者として...

- ・ごみになりにくい、また分別・リサイクルしやすい製品企画・設計をする
- ・梱包資材・容器包装を削減する
- ・修理体制を充実させる
- ・容器包装などの回収に努め、資源化する
- ・製品への識別表示や材質表示を分かりやすく説明する
- ・環境負荷の少ない商品をPRする

## 始めよう! 1人1日 100g

ごみの減量 私から

川西市

### 行政の役割

ごみ問題に関する情報の公開と意識啓発を進め、ごみ減量・リサイクル推進のための具体的なシステムを作っていく

地域説明会やごみ学習会の開催、啓発紙の充実等で普及啓発活動を進める

保育所・幼稚園児、児童、生徒を対象にしたごみ教育を進める

廃棄物減量等推進員制度を実施する

受益者負担・汚染者負担の観点から公平化を図るため、ごみ処理の有料化と指定袋制について検討する

多量にごみを排出する事業者に対して、減量化・再資源化計画書の提出を求め、適切な指導とアドバイスを行う

### 事業者の役割

「えっ!破産寸前だっ!」

(ハイム作「モック魔物」日報出版より転載)

### クイズ

クイズ正解者には、市オリジナルマイバッグを20人に差しあげます。正解者多数の場合は抽選。マイバッグの発送をもって発表にかえさせていただきます。

応募方法 ハガキにクイズの答え、今号で興味のある記事と感想、住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、同課クイズ係まで送ってください。

締切 3月31日(消印有効)

### クイズ

<問題> 川西市のごみ減量のスローガンは? の中にあてはまる数字を入れてください。

## 始めよう! 1人1日 100g

ごみの減量 私から

ヒント:答えはこのページにあります。

\*クイズ正解者には、市オリジナルマイバッグを20人に差しあげます。正解者多数の場合は抽選。マイバッグの発送をもって発表にかえさせていただきます。

応募方法 ハガキにクイズの答え、今号で興味のある記事と感想、住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、同課クイズ係まで送ってください。

締切 3月31日(消印有効)

### 子どもたちから「ごみ減量」を発信!

R・A主催のごみ学習会に参加してくれた加茂小学校4年生。通学路のごみ調べをきっかけに、「自分たちでごみ減量やポイ捨て禁止を呼び掛けよう!」と立ち上がった。ポスター作りにごみ箱設置、回収板作り...

そして先日、地域住民へ説明会を開いた。おとなを前にして真剣にごみ減量を訴える子どもたち。わが子の成長を喜ぶが如く、わたしの目に思わず感動の涙が...。おとなになっても、その気持ちを忘れずごみ減量してほしいな。(しかしまだ独身のS)